



新郷ありがとう小学校

学校だより第4号
平成28年4月26日
あわら市新郷小学校

HP…<http://awara-kyouiku.jp/~shingou/>

交通安全教室がありました 4/21(木)

あわら警察署員、交通指導員、あわら市役所のご指導で、安全な歩き方(2年)と自転車の乗り方(3~6年)について、学びました。

たてもののしき地から道路へ出るとき、交差点や横断歩道など道路をわたるときは左右の安全をしっかりとしかめましょう。



交通ルールを守り、安全をしっかりと確かめましょう。1年生の時より、うまく歩けましたよ。



自転車安全点検

タイヤ、ブレーキ
サドル、ハンドル等
しっかりと確かめます。

基本運転技術

まっすぐ走る 止まることができると思っていたのに、意外にむずかしいですね。



後方安全確認

曲がり角の前では、右後方の安全を確かめてから、ハンドルを切りまします。



シミュレーション

5・6年生は、自転車運転シミュレーションで、走行中に起こりうる危険場面を体験。

はじまりの言葉

交通事故で、命を落としてはいけません。家族は、病気やけがなら、回復に向けて、最高の治療ができるようあらゆる努力ができます。一瞬で命をなくす交通事故は、そんな家族の思いすら奪います。今日の教室で教えていただくことを、しっかりと自分の中にいれましょう。



子どもたちの声

4年

- ・動かす前に、一度後ろを見て、止まるまえにも後ろをみて止まりました。最後に白い線の上をなぞるようにして進みました。いがいとかんたんそうで、むずかしかったです。本じょう小学校へ行ってもおぼえていきたいです。
- ・まがってから後ろを見るのが、あまりできませんでした。自分で気づいたとき、なん度もなん度もやりました。そうしたら、できるようになりました。
- ・右のブレーキだけでやるとうしろのタイヤが上がってじこになるというのはしらなかつたのでわかってよかったです。
- ・ころんだったらたいあたまからうつということがわかったので、ヘルメットがだいじだともいいました。
- ・いつもブレーキをかけるときは左でブレーキをかけることをわすれていたんで、これからはブレーキは左で止まるようにしたいと思いました。
- ・自転車のおりかたで、きれいにおりれなかつたけど、走るのはきちんとできたのでうれしかったです。
- ・白いせんのにのっていたかつたけど、うまくできなかつたので、家で練習してできるようになりたいです。こんど、5、6年生がやっていたシミュレーターがやりたいです。

5年

- ・指導員の話で、大切なのは命といっていました。これからはじこにあわないように自分の命を大切にしていきたいです。
- ・わたしは、自転車に乗るときにふらふらになってしまうことがありました。しかし、それでは自分もあぶないし、他人もあぶなくなることがあるので、気をつけてまっすぐ乗れるようにしたいです。
- ・自転車のシミュレーターが私は一番楽しかったです。なぜかという、外で本当にのった時のきけんにもふれることができたし、のっている時に運転するのも楽しかったです。
- ・自転車だけが通れる道や止まれのかんばん。見たことがあっても、使い方が分からないと、事故になってしまう者がたくさんありました。
- ・交通教室でじてん車のきけんさがわかりました。……これからは、前後左右をきちんと見て、安全な自転車の運転をしたいと思います。

6年

- ・指導員の人のお話を聞いて、自転車に乗るときは安全に教わった乗り方で乗ることは命を守るためにとても大切だなと思いました。
- ・たくさん練習してから道路とかを自転車で行こうと思う。ぎもん:どれだけ練習したら、道路とかを行けると思えますか?
- ・シミュレーターをやって、カーブミラーを見ること、白線内で止まって右や左、後ろを確認すること、後ろ確認は右を向いてやることなどが分かりました。

雑読メモ…こころ動いた文章

家族とのきずなを強めるアイデア

今夜 夕食の時
あなたの家族に
何か 声を出して読んで上げなさい。
明日の夜は
家族の他の人に
何か読んでもらいなさい。
新聞のニュースでもいい。
絵本の一節でもいい。
嵐のヒット曲の歌詞でもいい。
コアラのマーチの箱でもいい。
歴史でも笑い話でも。
要は何でもいいのです。
毎晩、家族の誰かが
自分の好きなものを選んで読めばいい。
想像しても見なさい。
365日の間にあなたの家族が
どんなに幅広いテーマを読むことになるかを
あなたの子どもたちに
ちゃんとした読書の習慣をつけるには
なんとも効果的な方法では ありませんか。
もし 子どもたちがみんな
毎日の夕食のおかずとして
読書を出してもらっていたら。
太らないばかりか
栄養もあるおかずです。
加えてこれには一銭の費用もかからないのです。
参考『アメリカの心「全米を動かした75のメッセージ」』学生社

ニュースから考える

ケンカで小4重体 殴った男児を児相に通告

東京・足立区の小学校で14日、4年生の男子児童が、同級生に殴られるなどした後、意識不明の重体となった問題で、警視庁が傷害の非行事実で殴った同級生の男児を児童相談所に通告していた。児童は脳の血管が切れていて、意識不明の重体のまま入院している。4年生の男子児童が同級生の男子児童とぞうきんの投げ合いからケンカになり、腹や背中を殴られたが、教室の席に座った後、意識を失い、病院に搬送された。児童は脳の血管が切れていて、意識不明の重体のまま入院している。

(日テレ NEWS24 web より)

よく似た状況は、どの学校、どの子ども同士でも少なからずあるのではないかと思います。普段の生活の中の重大な事故につながるかもしれない言動に敏感でいなければと再確認しました。自分たちと同じ小学生の事件について考えたことを話し合ってみてはどうでしょう。

『カラスの親指』(道尾秀介著)から

1 つなぐ

「親指と中指、くっつきますか?」「簡単だろこんなの。」
「じゃ、小指とは?」「くつつくよ、ほれ。」
「親指は、人差し指、薬指ともくっつきますよね。」
実際に、やってみた。簡単だった。「くつつくな」
「じゃ、今度は、人差し指でやってみてください。おなじこと。」
「どれ」 ぼくは、人差し指を、中指、薬指、小指にくっつけてみた。
「ん」と思わず声を洩らした。小指だけが、人差し指と触れあわせるのがむずかしいのだ。どうにかくつつくのだが、指を傾ける角度に無理があり、筋肉がつりそうになってしまう。
「人差し指と小指、なかなかうまく“寄り添わなく”ないですか?」
「むずかしいね。」
「じゃあ、親指を人差し指にくっつけてやってみてください。」

親指を人差し指に添えてやってみる。

「あ、くつついた。」

親指が力を貸した人差し指は、なんなく小指と寄り添うことができた。

2 向き合う

「指の話をした時、自分を親指だと言いましたよね。」
「あれには、二つの意味があったんです。一つはもちろん、自分は親だって意味。もう一つは、何だと思えます?」

考えてみたがわからなかった。テツさんは、自分の手のひらを見つめながら、正解を教えてくれた。

「親指だけが、正面からほかの指を見ることができるんです。全部の指の中で、親指だけが、ほかの指の顔を知っているんです。」

ね、とテツさんは5本の指先を向き合わせて見せた。「なるほどな。」

テツさんは、たしかに親指だった。テツさんだけが、全員の本当の顔を知っていた。

教室という手、家庭という手の中で、親指であることの意味を、考えさせられました。親指を大きく開いて離すと、すべての指が離れることに気づきました。

※推理小説です。(ホームドラマではありません)

第2号のクイズの答え

- ① すもう 写真 等
- ② 傘 将棋 等
- ③ 飛行機(上空高くなれば)
- ④ イカ 他は重ねて言える…サバサバ・トトロ
- ⑤ 母は「ハハ」、母の母は「ハハハ」と笑う
- ⑥ 40 円の物を買って 100 円出した時のおつり
- ⑦ 10 円玉 4 個を払った。
- ⑧ 水を含む漢字 木を含む漢字
- ⑨ トランプ
- ⑩ 子どもの服 靴 等